

令和 4 年度 地域医療構想調整会議在宅療養ワーキンググループ
事前アンケート

今後更なる高齢化の進展により多死社会を迎える中で、今求められる「地域のネットワーク構築」という課題に立ち返り、今後増加する在宅療養患者を支える 24 時間の診療体制の構築について今年度は検討する。これに先立ち、意見交換を活発に進めるために、以下の問いにて参加者に対して事前アンケートを実施する。

なお、事前アンケートの結果は、各圏域における議論に活用することが主な目的であり、公表を前提とはしていないので、忌憚のない御意見をいただきたい。

《事前アンケート項目》

※ 以下、医師以外の回答者についても、在宅療養体制を推進するそれぞれの職種からの意見として御回答いただきますようよろしくお願いします。

1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、医療や介護の現場でコロナ患者を支えるために様々な取組が新たなななされているところである。今後更なる高齢化が進展する社会において、これらの取組の活用可能性について伺う。

(1) ア 在宅専門診療所との連携について、今後更に推し進めていくべき。

【非常にそう思う/まあそう思う/あまりそう思わない/全くそう思わない】

イ アのように考える理由を具体的に教えてください。【自由記載】

(2) ア オンライン診療の活用について、今後更に推し進めていくべき。

【非常にそう思う/まあそう思う/あまりそう思わない/全くそう思わない】

イ アのように考える理由を具体的に教えてください。【自由記載】

(3) その他医療DXや新たな職種や機関との関係づくり等、コロナ禍で進んだ取組はあるか。【自由記載】

(4) 今後在宅療養体制を充実させるに当たり、医療DXの視点からこういった取組を進めるべきか。【自由記載】

2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、既存の在宅療養患者を支える体制において後退してしまった取組等はあるか。【自由記載】

3 以上を踏まえて、今後増加する在宅療養患者を支える 24 時間の診療体制、地域包括ケアシステムの構築に対して、上記の取組等はどのように活かすことができると考えるか。【自由記載】